

施策評価シート

【施策】 3-1 こども

【めざす姿】 こどもを安心して産み、育てることができる

分野

3. ひとをはぐくむ

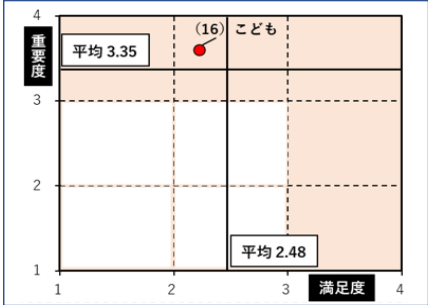
【取りまとめ部局】

健康福祉部

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.22	0	0	0	2.48	2.09	2.05	2.2	2.39
今後の重要度	3.6	0	0	0	3.35	3.68	3.69	3.68	3.45



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組(PLAN)	事務事業(DO)	効果検証(CHECK)
①	こどもの権利	こどもと保護者がともに成長し、子育てを通して喜びや幸せを得られる環境づくりを進めます	・こども計画に掲げる16施策について部局横断的に取り組みます。 ・こどもの権利を保障するための条例等を整備します。	整理番号 事業名 210 こども計画推進事業	【効果が出ている点】 ●こども計画に基づき、ライフステージに応じた子育て支援施策に取り組んでいます。 ●こどもの権利についての周知・啓発活動を行うことで、こどもの権利についての理解度が高まっています。 【新たな課題】 ●こどもも大人もこどもが権利の主体であるという理解を進めるとともに、条例整備と合わせた参画のためのしくみづくりを整えていく必要があります。
②	育ち支援	安心してこどもを産み子育てができるよう、切れ目のない支援体制を整えます	・保護者を孤立させないよう、子育てしやすい環境づくりを進め、親子の交流の場を提供します。また、妊娠期から子育て期において、支援の必要なこどもや家庭を早期に発見・把握し、必要なサービスが適切に提供できるよう、相談支援ダイヤルを設置するなど、切れ目のない併走型の相談支援を行うとともに、産科や小児科等医療分野との連携体制を整えます。 ・身近な地域において、発達障がい児等やその家庭への支援が適切に行われるよう、各分野が連携し、それぞれのこどもの発達特性に添った途切れのない専門的支援を行います。 ・市独自の不妊治療費助成を継続します。 ・国の制度に基づく、各種手当の支給や市独自の医療費助成を行います。 ・放課後児童クラブや病児保育など、様々なニーズに対応した居場所を確保します。	整理番号 事業名 641 物価高対応子育て応援手当事業 614 妊婦支援給付金 567 母子生活支援施設運営費 239 不妊治療等助成事業 237 母子健康診査事業 223 母子・父子自立支援事業 221 児童手当扶助費 219 児童扶養手当扶助費 220 助産施設運営費 215 利用者支援事業 214 地域子育て支援拠点事業 212 発達支援事業 211 病児保育事業 209 ファミリーサポートセンター運営事業 208 子育て支援対策事業 207 放課後児童対策事業 206 子どもの居場所づくり事業 204 家庭児童相談事業 203 女性相談事業	【効果が出ている点】 ●母子保健・児童福祉・発達支援の各機能を統合したこども家庭センターを設置したことにより、妊産婦から18歳までのこどもや子育て家庭への切れ目のない支援のための情報共有や連携が進んでいます。 ●保護者が孤立しないよう子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安や悩みを相談でき、安心して利用してもらえる場を提供しています。 ●放課後をはじめとしたさまざまなこどもの居場所を確保することで、働く世代への子育て支援とともに、こどもの安心・安全の確保や孤立の解消、自己肯定感の向上などにつながっています。 ●子どもの医療費助成では、市独自で高校生世代を対象とした助成を行い、子育て世代の医療にかかる経済的負担の軽減をはかりました。 【新たな課題】 ●中学校卒業後のこどもや子育て家庭へのアプローチが十分でなく、高等学校との連携体制の構築が必要です。
③	幼児教育・保育	質の高い持続可能な幼児教育・保育を提供し、就学前の子育てを支援します	・出生数や地理的条件を考慮し、保育所の統合、認定こども園化等を行い、適切な規模による幼児教育・保育と施設更新による安心・安全な幼児教育・保育の提供を進めていきます。 ・小規模園では地域の自然環境等を活かした特色ある幼児教育・保育を実施し、地域と協働し活性化をめざします。 ・低年齢児の保育ニーズの増加に対応するため、幼稚園の認定こども園化の検討、小規模保育等の地域型保育事業の推進、誰でも通園制度の実施を進めていきます。 ・保育計画、保育目標の実現にむけ、人権保育、インクルーシブ保育を推進し、CLM(チェック・リスト・イン三重)の導入や小学校との連携により、切れ目のない発達支援に取り組みます。 ・私立保育園等に対する保育士確保、配置に対する支援により、低年齢児の保育環境を充実することで、保育士の定着を図り、受入れ定員の確保を進めます。 ・保育士がこどもと向き合う時間を増やすため、サポート職員を配置し、負担軽減を図り、自然保育などの新たな幼児教育・保育に取り組むことができる環境をつくります。	整理番号 事業名 657 幼児教育・保育ビジョン策定事業 656 保育職員人材育成事業 655 保育交流・事業推進事業 654 乳児等のための支援給付事業費 568 私立保育所等運営支援事業 444 施設改修事業 443 園管理経費 225 施設改修事業 224 保育所管理運営事業 222 子育てのための施設等利用給付事業費 218 私立保育所等補助金 217 心身障がい児療育保育事業 216 私立保育所等運営費 200 児童福祉一般経費	【効果が出ている点】 ●誰でも通園制度の開始に向けて実施箇所や例規整備などを行い、予定通り開始しました。 ●保育計画、保育目標の実現に向け、人権保育、インクルーシブ保育を推進し、CLM(チェック・リスト・イン三重)の導入や小学校との連携により、切れ目のない発達支援に取り組みました。 ●保育士の就労助成制度により、保育士確保が進みました。 ●保育所にサポート職員を配置することにより、保育士がこどもと向き合う時間を増やすことができました。 ●保育士の負担軽減を図れたことで、自然保育などの新たな幼児教育・保育に取り組むことができました。 【新たな課題】 ●待機児童数は減少傾向にありますが、一斉入所調整時や途中入所調整時に私的待機を含めた待機児童が発生しています。

◆令和7年度外部評価

項目	評価	所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり 「こどもの権利」の理解促進や「自己肯定感の向上」など、効果が見えにくい取組については、実際に市民やこどもにどのような変化があったかを意識して検証することが重要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり 基本事業「②育ち支援」に関して、成果指標の進捗度が「△あまり進まなかった」となるにもかかわらず、基本事業の進捗が「○計画どおり進めている」となっており、ACTIONは「計画どおり通り進めます」としか記載がない。計画どおり進めていると分かるよう記載してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調) ・まちづくりアンケート調査結果から「20代以下」と「30～40代」の子育て世代の満足度が低い結果となっているものを市として受け止め、施策の見直し改善へとつなげてほしい。 ・「計画どおり」となっているが、ニーズの変化等、新たな課題に対応する取組が必要である。

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	こどもの権利条例策定に向けた審議会・庁内会議等の開催に合わせて、育ち支援や幼児教育・保育等の視点にも注視した協議を進めました。また、人権保育・インクルーシブ保育を推進し、母子保健・保育園等・小中学校の連携により、切れ目のない発達支援体制の強化を進めました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	保育現場を含めた発達支援において、三重県子ども心身発達支援センターとの連携のもとCLM手法の導入を開始しました。また、保育士の就労助成制度による保育士の確保を進めました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	母子保健・児童福祉において、さまざまな地域資源を活用するための連携を進めました。また、地域の自然環境等を活かした特色ある幼児教育・保育を実施し、地域との協働による活性化をめざして取り組みました。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	こども・若者施策に対する市民の満足度	伊賀市こども計画に掲げる16の基本施策の満足度の平均値	単年	R6.12.12 43%	R8.3.13 48%				R10 56.1%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	健康福祉部こども政策課	●市が取り組む子育て支援施策等について、市民の方々に広く周知するため、最新の情報に更新し、また、SNS等で取組状況について周知します。 ●すべてのこどもたちが安心して大人になる社会を作るため、こどもが権利の主体であることについて、大人の理解を深めるための取り組みを継続します。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)
I	子育て相談窓口の充実度	伊賀市こども計画のアンケートにより、子育てに係る相談窓口が「充実している」と思う割合	単年	R6.12.12 27%	R8.3.3 30%				R10 40%	△あまり進まなかった(70%以上85%未満)	健康福祉部こどもの育ち支援課、こども政策課、子育て支援室、保険年金課	●計画どおり進めます。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)
I	0～2歳児の保育所(園)利用申込数に対する入所(園)者数の割合	保育士の加配に対する支援や、幼稚園の認定こども園化、保育士確保による受入れ人数の増加により、0～2歳児の利用申込に対する入所率の段階的な増加を見込む。	単年	R6 82.02%	R7 95.01%				R10 89.91%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	健康福祉部保育幼稚園課	●地域の自然環境等を活かした特色ある幼児教育・保育を実施し、地域と協働し活性化を目指します。 ●低年齢児の保育ニーズの増加に対応するため、地域型保育事業を開始します。 ●誰でも通園制度の保育サービス提供を実施します。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)

その他の意見等

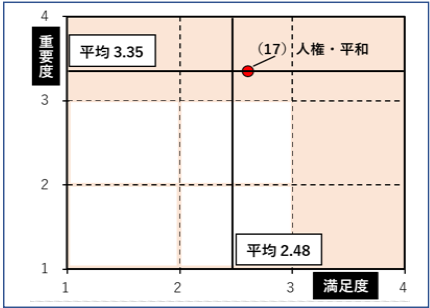
基本事業「②育ち支援」の基本事業が個別的には「こどもの育ち支援課」「こども政策課」「子育て支援室」「保険年金課」の4つの課の事業を集めている点が現状であり、一貫した内部評価を困難にしているのではないと思われる。この点について、計画の進捗管理体制や工夫について検討を求めたい。

【めざす姿】 あらゆる差別が解消され、お互いの人権が尊重される

■まちづくりアンケート調査結果(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.6	0	0	0	2.48	3	2.53	2.52	2.63
今後の重要度	3.36	0	0	0	3.35	3.43	3.26	3.42	3.35

年代別内訳(点)



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組(PLAN)	事務事業(DO)	効果検証(CHECK)
①	人権啓発	市民の人権意識を高め、お互いが尊重される「人権文化都市」の構築をめざします	・参加者アンケートの意見等を基に、誰もが参加しやすい事業の展開を図るとともに、これまで啓発が充分に行き届いていない年代層にも参加してもらえるような事業を展開します。 ・より人権意識の高いキーマンを育成するよう、より高度な学習機会の提供と内容の充実を図ります。 ・人権に関する相談窓口の周知を図るとともに、デジタル技術を活用するなど、相談しやすい体制づくりを進めます。 ・差別や人権侵害を受けた相談者の思いに寄り添い、抱えている悩みや問題の解決のため、関係機関等との連携を図ります。 ・何が差別に該当するのかなどについて一定の基準等を示す「差別解消ガイドライン」の作成に取り組みます。 ・性の多様性について理解が広まるよう啓発に努めます。 ・中期的な取組として、人権相談や人権救済・支援体制の構築を進めます。	整理番号 事業名 79 人権啓発推進事業	【効果が出ている点】 ●人権啓発が充分に行き届いていない年代層への人権教育・啓発の手法として、動画共有サイトを活用した人権啓発動画による啓発を実施しました。 【新たな課題】 ●令和7年度に市内で発生した差別事象への対応によって、保護者層の人権学習経験が不足していることが明らかとなりました。 ●成果指標の目標数値を達成したため、目標値を80%に引き上げるとともに、人権学習意欲を高めるような実践的で効果的な講演会等の学習機会を提供していきます。
②	非核平和	平和の尊さや戦争の悲惨さを自分事として感じる機会を提供し、非核平和に関する意識の醸成を図ります	・非核平和への願いを次世代につないでいくため、中学生の被爆地広島市への派遣事業に取り組みます。 ・派遣事業に参加した生徒が現地で学んだことを学校での学習で他の生徒に広げることができるよう教育委員会と連携し、各学校における還元学習に取り組みます。 ・戦争未経験の市民に平和の尊さを訴えかける事業を展開し、平和に関する市民意識の向上を図ります。	整理番号 事業名 89 非核平和都市推進事業	【効果が出ている点】 ●非核平和を発信する次世代人材の育成として、中学生の被爆地広島への派遣をはじめ、各学校における還元学習会の取組を進めた結果、平和への貢献意識が向上しています。
③	男女共同参画	性別に関わらず、誰もがあらゆる場で活躍できる社会の実現をめざします	・住民自治協議会に対して地域の取組における男女共同参画の意義を説明し、女性登用を働きかけます。 ・職場や地域、家庭等あらゆる場で、ジェンダー平等を進める重要性について啓発や広報に努めます。 ・女性対象及び男性対象の事業を展開するとともに、女性の社会進出には男性の理解が欠かせないことから、女性対象だけでなく、男女が共に学習できる機会も提供するなど、内容の充実にも努めます。 ・女性特有の悩みを法的に解決するための支援を継続して実施します。 ・性別による役割分担意識を解消するための啓発活動を充実します。	整理番号 事業名 82 男女共同参画基本計画策定事業 81 男女共同参画推進事業 80 男女共同参画センター管理経典	【効果が出ている点】 ●男女共同参画に関する講演会や研修会への参加率は向上しています。 【新たな課題】 ●個別指標は向上しているものの女性登用はあまり進んでいません。 ●男女双方からの意識改善が必要であることから、個別指標を講演会の男性参加者数(割合)に修正が必要です。

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	人権講演会の参加者を対象としたアンケート結果による評価のみでは、現在課題となっている保護者層や、これまで啓発が行き届きにくい年代層への啓発のための施策の進捗をはかることは困難であり、別の指標が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	啓発に留まらず、実態としての変化につながるような取組を進めてほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	・基本事業②「非核平和」の指標であるアンケート調査の実施時期については、確実な見直しと実施を図ってほしい。 ・市民の意識向上を具体的な行動や社会参加につなげるため、継続した啓発と取組の充実が必要である。

■横断的な取組の進捗CHECK

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	基本的人権の尊重にむけ、さまざまな人権課題の解消に向けた啓発活動を、あらゆる主体に向けて進めており、また、人権侵害や差別被害の救済に向けた包括的な人権相談体制の整備に向け3力年計画で実施している中、初年度としてあらゆる被差別当事者のヒアリング調査を実施しました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	市役所(本庁舎、支所等)と地域の自治協議会、地域の人権活動にとりくむ任意団体等との持続可能な人権教育や人権啓発の取組にあり方について、各地域をまわって協議を進めてきました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	地域で人権活動にとりくむ任意団体等と連携し、市域全体として人権尊重の取組を進めています。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	講演会、研修会等参加者の事業に対する理解度	人権に関する講演会等への参加者アンケートで「今後も開催すべきか」の設問に対し、「積極的に行うべき」と回答した人の割合を増やす。	単年	R6 62.8%	R7 75.83%				R10 80%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	人権生活環境部 人権政策課	●差別の未然防止として、保護者層やこれまで啓発が行き届きにくい年代層など、市民啓発を進めるため、関係各課と協議を進め、啓発のあり方を検討しています。 ●人権講演会や人権問題地区別懇談会についても、各支所や地域と連携し、地域に根差した人権啓発事業のあり方の検討を進めています。 ●成果指標を修正します。(目標値)75% → 80%【KPI上方修正】	◎計画通り進めている(85%以上100%未満)
I	市内中学3年生の平和への貢献に関する意欲	市内の中学3年生全員を対象にアンケートを行い、平和な世界をつくるための取組意欲について「したい」「できればしたい」と回答した割合を増やす。	単年	R6 64%	R7 65%				R10 80%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	人権生活環境部 人権政策課	●令和7年度は、太平洋戦争終結後80年の節目の年であり、指標は向上しやすい社会背景であったため向上しました。令和8年度も各学校における還流学習を徹底し、平和への貢献意識の向上を図り、平和の尊さを発信できる人材を育成します。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)
I	市民を対象に行う事業への参加率	男女共同参画に関する講演会や研修会の募集人数に対する参加率を向上させる。	単年	R6 44.2%	R7 56.6%				R10 80%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	人権生活環境部 人権政策課	●特に女性登用が進んでいない住民自治協議会向けの講座を実施します。 ●講座受講者へのアンケートに「講座内容を家族や知人に伝えたいか」の項目を加えて、波及効果を測ります。 ●上記の項目を測り、成果指標の見直しを予定しています。(令和9年度予定)【KPI変更予定】	○計画通り進めている(85%以上100%未満)

その他の意見等

参加状況や満足度といった指標に加え、市民全体への関心の広がりや、意識の定着をどのように把握するかも検討が必要である。

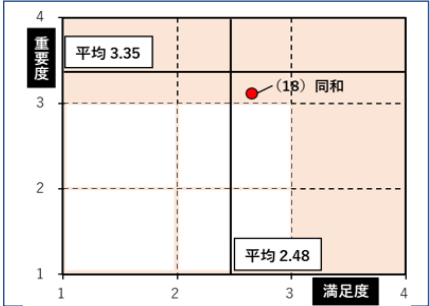
【施策】 3-3 同和

【めざす姿】 一人ひとりが部落差別と向き合い、差別が解消されている

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.65	0	0	0	2.48	3.13	2.62	2.54	2.68
今後の重要度	3.12	0	0	0	3.35	3.35	2.85	3.13	3.24



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本 事業 番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)																																														
①	同和	社会全体から部落差別をなくし、隣保館・児童館機能を充実させます	・推進計画の基本施策である「部落差別解消のための啓発・教育の推進」を通じて、市民全体に差別をなくす当事者としての自覚を促す機会を提供し、市民全員に差別解消の主体者としての意識を持ってもらうことに努めます。 ・同和問題の早期解決をめざし、部落差別を受けている地域の実情を把握し、施策やニーズに基づいた生活困窮者への対策などを体系的に整理するため、生活実態調査を行います。 ・部落差別の解消に向け、教育集会所や児童館を含め隣保館を人権相談の拠点として位置づけ、差別被害者の救済と、加害者に対する再発防止の取組を実施するなど、周辺地域と一体となった隣保館の活用を進めます。	<table><thead><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr></thead><tbody><tr><td>613</td><td>八幡町市民館施設改修事業</td></tr><tr><td>612</td><td>寺田市民館施設改修事業</td></tr><tr><td>611</td><td>火葬場解体等事業</td></tr><tr><td>368</td><td>生産管理用道路整備事業</td></tr><tr><td>227</td><td>児童館事業経費</td></tr><tr><td>226</td><td>児童館管理経費</td></tr><tr><td>199</td><td>隣保館交流事業</td></tr><tr><td>198</td><td>青山文化センター隣保館事業</td></tr><tr><td>197</td><td>ライトピア事業経費</td></tr><tr><td>196</td><td>まえばわ隣保館事業</td></tr><tr><td>195</td><td>寺田市民館事業経費</td></tr><tr><td>194</td><td>下都市民館事業経費</td></tr><tr><td>193</td><td>八幡町市民館事業経費</td></tr><tr><td>192</td><td>青山文化センター隣保館管理経費</td></tr><tr><td>191</td><td>ライトピア管理経費</td></tr><tr><td>189</td><td>寺田市民館管理経費</td></tr><tr><td>188</td><td>下都市民館管理経費</td></tr><tr><td>187</td><td>八幡町市民館管理経費</td></tr><tr><td>186</td><td>住宅新築資金等貸付事業</td></tr><tr><td>185</td><td>福祉資金貸付事業</td></tr><tr><td>183</td><td>同和施策推進計画事務経費</td></tr><tr><td>182</td><td>同和行政事務管理経費</td></tr></tbody></table>	整理番号	事業名	613	八幡町市民館施設改修事業	612	寺田市民館施設改修事業	611	火葬場解体等事業	368	生産管理用道路整備事業	227	児童館事業経費	226	児童館管理経費	199	隣保館交流事業	198	青山文化センター隣保館事業	197	ライトピア事業経費	196	まえばわ隣保館事業	195	寺田市民館事業経費	194	下都市民館事業経費	193	八幡町市民館事業経費	192	青山文化センター隣保館管理経費	191	ライトピア管理経費	189	寺田市民館管理経費	188	下都市民館管理経費	187	八幡町市民館管理経費	186	住宅新築資金等貸付事業	185	福祉資金貸付事業	183	同和施策推進計画事務経費	182	同和行政事務管理経費	[効果が出ている点] ●アウトリーチによる積極的な相談活動を重視した結果、相談件数が大幅に増加しています。 [新たな課題] ●昨年発生した未就学児の差別発言から、未だに根強く被差別部落に対する差別意識が残っていることが明らかになっています。関係部署と連携した啓発を行うとともに、人権をはじめとした総合相談窓口である隣保館機能のさらなる周知が必要です。
整理番号	事業名																																																		
613	八幡町市民館施設改修事業																																																		
612	寺田市民館施設改修事業																																																		
611	火葬場解体等事業																																																		
368	生産管理用道路整備事業																																																		
227	児童館事業経費																																																		
226	児童館管理経費																																																		
199	隣保館交流事業																																																		
198	青山文化センター隣保館事業																																																		
197	ライトピア事業経費																																																		
196	まえばわ隣保館事業																																																		
195	寺田市民館事業経費																																																		
194	下都市民館事業経費																																																		
193	八幡町市民館事業経費																																																		
192	青山文化センター隣保館管理経費																																																		
191	ライトピア管理経費																																																		
189	寺田市民館管理経費																																																		
188	下都市民館管理経費																																																		
187	八幡町市民館管理経費																																																		
186	住宅新築資金等貸付事業																																																		
185	福祉資金貸付事業																																																		
183	同和施策推進計画事務経費																																																		
182	同和行政事務管理経費																																																		

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	A	適切である	
(2)事務事業改善案の妥当性	A	適切である	
(3)施策の進捗状況	A	良い(順調)	

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	部落差別解消推進計画の進捗管理を行い、庁内各部署への伴走支援を行いながら、部落差別をはじめとするあらゆる差別解消のための学びや啓発の機会を、関係部署と協働で提供しています。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	「きづきから学び、そして啓発へ」をコンセプトとして、差別事象が発生した際に、人権担当部局が中心となって各部署と連携し、課題発見や解決の方法を導くための「きづき」の機会を提供することができました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	福祉施設であり同時に人権の砦である隣保館の役割を再確認し、アウトリーチを含めた積極的な相談体制の確立を進めていることで、個別のケースに応じて臨機応変に情報共有や協働支援を実施する所属横断的な取組みが実践できています。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業 改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	隣保館による相談件数	隣保館への来所及びアウトリーチを含む相談件数について令和10年度まで4,000件以上を維持する	単年	R6 3,743件	R7 4,510件				R10 4,000件以上	◎目標以上に進んだ(100%以上)	人権生活環境部 同和課	●令和8年度から部落差別を解消するための次世代の人材育成や隣保館での相談事業の充実を図るための職員等の研修、地域の生活実態を把握するための社会調査研究事業などを実施していきます。 ●成果指標の目標値を見直しました。 (指標の説明)隣保館への来所及びアウトリーチを含む相談件数について令和10年度まで4,000件以上を維持する (目標値)R10 4,000件以上 【KPI変更済】	○計画通り進めている (85%以上100%未満)

その他の意見等

様々な取組を実施していることが、ヒアリングを通して理解できた。

【めざす姿】 こどもたちが、未来に夢や希望を持つことができる

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

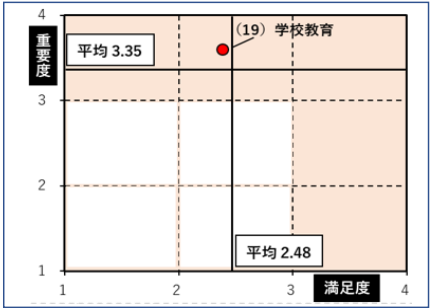
指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.38	0	0	0	2.48	2.42	2.25	2.4	2.45
今後の重要度	3.6	0	0	0	3.35	3.79	3.65	3.68	3.46

■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)																																																
①	学校教育	確かな学力の保障、人権・同和教育の充実、キャリア教育の推進を3本柱にこどもたちの進路保障に取り組むとともに一人ひとりのニーズに合った支援を行います	・各学校(園)がマニフェストを作成し、公表・評価、改善を行い、学校経営の質の向上に努めます。 ・各学校で全国学力調査の結果から学力の定着状況を的確に把握・分析し、授業改善を行います。 ・読書活動推進のため、学校図書館司書の配置等の環境整備に取り組みます。 ・すべての学校で発達障がいへの通級指導が可能となる体制を整備します。 ・通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒についても、「個別の指導計画」等を作成します。 ・教育支援センターの充実と校内教育支援センターの設置を促進します。 ・民間フリースクール等との連携を図る等、多様な学びを支援していきます。 ・外国人児童生徒の初期適応指導をすべての児童生徒が受けられる体制を整えます。 ・いじめの早期発見、早期対応に取り組めます。 ・給食費無償化の継続と食育推進を図り、地場産食材の優先活用を向上させます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>474</td><td>給食センター管理運営経費</td></tr><tr><td>473</td><td>学校給食管理経費</td></tr><tr><td>440</td><td>就学奨励費</td></tr><tr><td>437</td><td>健康管理経費</td></tr><tr><td>431</td><td>就学奨励費</td></tr><tr><td>428</td><td>健康管理経費</td></tr><tr><td>423</td><td>伊賀市教育研究センター管理運営経費</td></tr><tr><td>421</td><td>教職員研究研修経費</td></tr><tr><td>420</td><td>読書活動推進事業</td></tr><tr><td>419</td><td>部活動指導員配置促進事業</td></tr><tr><td>418</td><td>地域とともに学校マニフェスト推進事業</td></tr><tr><td>417</td><td>生徒指導推進事業</td></tr><tr><td>416</td><td>特別支援教育充実事業</td></tr><tr><td>415</td><td>学力向上推進事業</td></tr><tr><td>414</td><td>人権同和教育推進事業</td></tr><tr><td>413</td><td>外国人児童生徒支援事業</td></tr><tr><td>412</td><td>キャリア教育推進事業</td></tr><tr><td>411</td><td>英語指導助手招へい経費</td></tr><tr><td>410</td><td>不登校児童生徒支援事業</td></tr><tr><td>409</td><td>教育振興一般経費</td></tr><tr><td>408</td><td>学校保健管理経費</td></tr><tr><td>407</td><td>一般管理経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	474	給食センター管理運営経費	473	学校給食管理経費	440	就学奨励費	437	健康管理経費	431	就学奨励費	428	健康管理経費	423	伊賀市教育研究センター管理運営経費	421	教職員研究研修経費	420	読書活動推進事業	419	部活動指導員配置促進事業	418	地域とともに学校マニフェスト推進事業	417	生徒指導推進事業	416	特別支援教育充実事業	415	学力向上推進事業	414	人権同和教育推進事業	413	外国人児童生徒支援事業	412	キャリア教育推進事業	411	英語指導助手招へい経費	410	不登校児童生徒支援事業	409	教育振興一般経費	408	学校保健管理経費	407	一般管理経費	[効果が出ている点] ●各学校(園)が作成したマニフェストに沿って、学校経営の質の向上に努めています。 ●特別な支援が必要な児童生徒や不登校児童生徒、外国人児童生徒など、それぞれの個性やニーズにあった支援が進められています。 [新たな課題] ●教職員の研修等を進めていますが、依然として教職員の授業改善等に課題があり、全国学力学習状況調査の中学校の結果は全国平均を下回っています。 ●児童生徒にあった支援が進められていますが、さらなるニーズに対応するため、今後もさまざまな機関と連携していく必要があります。		
整理番号	事業名																																																				
474	給食センター管理運営経費																																																				
473	学校給食管理経費																																																				
440	就学奨励費																																																				
437	健康管理経費																																																				
431	就学奨励費																																																				
428	健康管理経費																																																				
423	伊賀市教育研究センター管理運営経費																																																				
421	教職員研究研修経費																																																				
420	読書活動推進事業																																																				
419	部活動指導員配置促進事業																																																				
418	地域とともに学校マニフェスト推進事業																																																				
417	生徒指導推進事業																																																				
416	特別支援教育充実事業																																																				
415	学力向上推進事業																																																				
414	人権同和教育推進事業																																																				
413	外国人児童生徒支援事業																																																				
412	キャリア教育推進事業																																																				
411	英語指導助手招へい経費																																																				
410	不登校児童生徒支援事業																																																				
409	教育振興一般経費																																																				
408	学校保健管理経費																																																				
407	一般管理経費																																																				
②	教育環境	個別・最適に学べる教育環境づくりを進めます／学校施設長寿命化計画に基づき、長寿命化の視点に立った施設整備を計画的に行います	・学校みらい構想基本計画に基づき、保護者や地域住民の方とともに、より良い教育環境づくりを進めます。 ・児童生徒の安心・安全な通学を最優先に、通学方法、費用負担を検討します。 ・計画的な端末整備・更新を行うとともに、各計画に基づき、安定・継続したICT環境整備に努めます。 ・多くの学生に奨学金による経済的支援が行き届く環境を整えます。 ・学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に事業に取り組み、かつ、適宜修繕を行い施設の機能維持を図ります。 ・老朽化している機器及び設備の更新年次計画を策定します。 ・安定した給食提供のため、センター方式化を進めると共に厨房設備等の維持更新を図ります。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>663</td><td>給食施設改修事業</td></tr><tr><td>660</td><td>中学校部活動支援事業</td></tr><tr><td>646</td><td>いがまち地区中学校区再編事業</td></tr><tr><td>475</td><td>小学校給食センター建設事業</td></tr><tr><td>441</td><td>教材・教員整備費</td></tr><tr><td>439</td><td>施設改修事業</td></tr><tr><td>438</td><td>学校管理用備品整備事業</td></tr><tr><td>436</td><td>遠距離通学者等通学経費</td></tr><tr><td>435</td><td>施設維持管理経費</td></tr><tr><td>434</td><td>スクールバス運転管理及び維持経費</td></tr><tr><td>433</td><td>一般管理運営経費</td></tr><tr><td>432</td><td>教材・教員整備費</td></tr><tr><td>430</td><td>施設改修事業</td></tr><tr><td>429</td><td>学校管理用備品整備事業</td></tr><tr><td>427</td><td>遠距離通学者等通学経費</td></tr><tr><td>426</td><td>施設維持管理経費</td></tr><tr><td>425</td><td>スクールバス運転管理及び維持経費</td></tr><tr><td>424</td><td>一般管理運営経費</td></tr><tr><td>422</td><td>情報化教育推進経費</td></tr><tr><td>406</td><td>教職員住宅維持管理経費</td></tr><tr><td>405</td><td>奨学金等支給経費</td></tr><tr><td>404</td><td>事務局管理経費</td></tr><tr><td>403</td><td>委員会管理経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	663	給食施設改修事業	660	中学校部活動支援事業	646	いがまち地区中学校区再編事業	475	小学校給食センター建設事業	441	教材・教員整備費	439	施設改修事業	438	学校管理用備品整備事業	436	遠距離通学者等通学経費	435	施設維持管理経費	434	スクールバス運転管理及び維持経費	433	一般管理運営経費	432	教材・教員整備費	430	施設改修事業	429	学校管理用備品整備事業	427	遠距離通学者等通学経費	426	施設維持管理経費	425	スクールバス運転管理及び維持経費	424	一般管理運営経費	422	情報化教育推進経費	406	教職員住宅維持管理経費	405	奨学金等支給経費	404	事務局管理経費	403	委員会管理経費	[効果が出ている点] ●学習用端末が充実し、視覚や聴覚に訴えるため、楽しみながら学習することができています。 ●学習端末内のアプリでは、教材にルビを振ることができるなど、自分の学力にあわせて提供される教材で学ぶことができることから、家庭学習の充実につながりました。 ●みらい構想基本計画に基づき、早期に検討が必要な学校について、協議を進めています。
整理番号	事業名																																																				
663	給食施設改修事業																																																				
660	中学校部活動支援事業																																																				
646	いがまち地区中学校区再編事業																																																				
475	小学校給食センター建設事業																																																				
441	教材・教員整備費																																																				
439	施設改修事業																																																				
438	学校管理用備品整備事業																																																				
436	遠距離通学者等通学経費																																																				
435	施設維持管理経費																																																				
434	スクールバス運転管理及び維持経費																																																				
433	一般管理運営経費																																																				
432	教材・教員整備費																																																				
430	施設改修事業																																																				
429	学校管理用備品整備事業																																																				
427	遠距離通学者等通学経費																																																				
426	施設維持管理経費																																																				
425	スクールバス運転管理及び維持経費																																																				
424	一般管理運営経費																																																				
422	情報化教育推進経費																																																				
406	教職員住宅維持管理経費																																																				
405	奨学金等支給経費																																																				
404	事務局管理経費																																																				
403	委員会管理経費																																																				

◆令和7年度外部評価

項目	評価	所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり めざす姿に対する行政の取組が明確になっていない。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり 効果検証から事務事業改善案が読み取りにくい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調) ・社会が大きく変化の中で、重要な取組も大きく変化するが、その対応が書かれていない。 ・学力向上についての成果指標のあり方について考えてほしい。



■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	保護者、地域、学校と話し合いの場を設け、子どもたちの資質や能力を引きだせるような望ましい小・中学校の教育環境の整備に取り組んでいます。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	公務用端末の活用により、出席確認等をスムーズに行うことができ、保護者、教員ともに負担軽減となりました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	保護者と学校だけでなく、地域とともに児童生徒を育てていくという考えのもと、望ましい小・中学校の教育環境の整備に取り組んでいます。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	将来の夢や目標を持っている割合	全国学力・学習状況調査(児童生徒質問紙)において「将来の夢や目標を持っていますか」(4月時点)に対して肯定的に回答した小学6年生と中学3年生の割合	単年	R6.4 76.1%	R7.4 75.6%				R10.4 80%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	教育委員会 学校教育課	●教職経験の浅い教職員が増えているため、その教職員に重点を置いて教職員研修を進めます。 ●全学校での通級指導の開始や他機関との関わりの増加によって、これまでよりいっそう連携と情報共有を進めていきます。	○計画通り進んでいる(85%以上100%未満)
II	学校改善に努めていると感じる保護者の割合	各学校が実施する学校評価アンケート(保護者用)において「学校は、保護者や地域(学校運営協議会委員等)の意見を取り入れて学校改善に努めている」(12月末時点)と回答した割合	単年	R6.12 88.2%	R7.12 88.9%				R10.1 91%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	教育委員会 学校教育課		
I	GIGA端末(タブレット)の活用状況	「ICT活用で楽しみながら学習できているか」のアンケート(4月時点)に対して、肯定的に回答した小学6年生と中学3年生の割合	単年	R6.4 84.9%	R7.4 87.8%(小6)				R10.4 86.1%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	教育委員会 教育総務課	●令和9年度開校のいがまち中学校区の通学方法の決定後、自転車通学について通学の費用負担の見直し検討を行います。	○計画通り進んでいる(85%以上100%未満)
II	施設改善率	児童・生徒が快適に学習できる環境整備として「空調機の未設置教室」や「トイレ洋式化」の改善を行う。	単年	R6.4.1 28.67%	R7.4 29.4%				R10 38.97%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	教育委員会 教育施設課		

その他の意見等

- ・特別な支援について、検証を続ける中で新たなニーズが出てくるが、子どもたちに何か変容があれば書いてほしい。到達点はないと考えるが、新たなニーズも含め、支援の充実が図られることを望む。
- ・基本事業①「学校教育」の効果検証が実施内容の説明になっている。
- ・教職員の人材育成が大きな課題となっているため、更に突っ込んだ評価と具体策、進捗を示してほしい。
- ・基本事業①「学校教育」について、問題の所在は「教職経験の浅さ」ではないと考える。教育委員会等が分析した成果を教職員に共有し、一緒に授業改善に取り組むことを書く必要がある。
- ・基本事業②「教育環境」に課題が書かれていないため、事務事業改善案は不要ではないか。

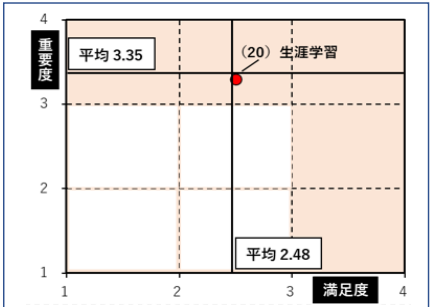
【施策】 3-5 生涯学習

【めざす姿】 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍することができる

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.5	0	0	0	2.48	2.86	2.38	2.5	2.52
今後の重要度	3.3	0	0	0	3.35	3.4	3.3	3.33	3.25



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本 事業 番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)																						
①	社会教育	学びを通じた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の実現に向けた取組を進め、ネットワークの構築に繋がります	・こどもから大人まですべての市民が、いつでもどこでも学べる体制づくりを推進し、市民の学習活動への参加意識の高揚を図り、地域で実践する人材を育成します。 ・舞台発表や作品展示など、生涯学習の成果を発表する場や機会の充実を図ります。 ・各地域の住民自治協議会に生涯学習活動事業を委託し、地域における課題解決のための生涯学習事業を展開していきます。 ・各地域の生涯学習推進状況を把握し、研修機会の確保や、社会教育指導員からの指導・助言により、生涯学習支援員の更なるスキルアップを図ります。また、生涯学習支援員の活動内容やその効果について検証を行います。 ・「大人の学び」の場を提供できるよう、関連部署等と連携を取りながら環境整備を行います。 ・人権同和教育を推進するリーダー育成や人権に関する相談体制を充実するために、座談会形式の人権教育学習会や聴講型の人権教育研修会を開催します。 ・教育集会所では、小中学校地区学習会や、高校生・青年の人権学習、識字教室等を開催します。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>661</td><td>20歳のつどい式開催経費</td></tr><tr><td>623</td><td>寺田教育集会所施設改修事業</td></tr><tr><td>470</td><td>教育集会所交流事業</td></tr><tr><td>469</td><td>人権教育推進事業</td></tr><tr><td>468</td><td>教育集会所管理経費</td></tr><tr><td>462</td><td>学校支援地域本部推進事業</td></tr><tr><td>458</td><td>同和教育研究推進事業</td></tr><tr><td>448</td><td>たわらや維持管理経費</td></tr><tr><td>447</td><td>生涯学習推進啓発事業</td></tr><tr><td>446</td><td>社会教育推進経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	661	20歳のつどい式開催経費	623	寺田教育集会所施設改修事業	470	教育集会所交流事業	469	人権教育推進事業	468	教育集会所管理経費	462	学校支援地域本部推進事業	458	同和教育研究推進事業	448	たわらや維持管理経費	447	生涯学習推進啓発事業	446	社会教育推進経費	【効果が出ている点】 ●第3次伊賀市生涯学習推進指針を策定し、各地域へ生涯学習支援員を配置し、地域住民のニーズに合わせた生涯学習事業を行うことができました。 ●人権啓発推進リーダーの育成や人権の相談体制を充実するため、座談会形式の人権教育学習会や聴講型の研修会を開催しました。 【新たな課題】 ●地域課題に対応できる人材の育成が必要です。
整理番号	事業名																										
661	20歳のつどい式開催経費																										
623	寺田教育集会所施設改修事業																										
470	教育集会所交流事業																										
469	人権教育推進事業																										
468	教育集会所管理経費																										
462	学校支援地域本部推進事業																										
458	同和教育研究推進事業																										
448	たわらや維持管理経費																										
447	生涯学習推進啓発事業																										
446	社会教育推進経費																										
②	青少年健全育成	心豊かで思いやりのある青少年の育成を推進します	・青少年健全育成に係る担い手や見守り役を育てるため、市と団体が連携し、青少年健全育成講演会や街頭啓発等を行います。 ・街頭補導や相談窓口設置と合わせて、7月と11月には、青少年非行被害防止の取組として、青少年健全育成市内一斉活動を実施します。 ・地域・学校・関係団体と連携して、環境浄化活動を行い、清浄な環境づくりに努めます。 ・家庭、図書館、学校等が連携し、こどもが進んで読書に親しめる環境づくりに取り組みます。 ・放課後子ども教室の開設数の維持・増加に取り組むとともに、放課後児童クラブとの連携を検討します。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>463</td><td>青少年センター運営経費</td></tr><tr><td>461</td><td>放課後子ども教室推進事業</td></tr><tr><td>460</td><td>青少年健全育成事業</td></tr></table>	整理番号	事業名	463	青少年センター運営経費	461	放課後子ども教室推進事業	460	青少年健全育成事業	【効果が出ている点】 ●子どもの読書活動を推進するため、第三次伊賀市子ども読書活動推進計画を策定しました。 ●家庭・学校・地域が一体となり、子どもが心身ともに健康に育つよう、放課後子ども教室等で子どもの居場所づくりや見守り・相談支援を行いました。 ●青少年健全育成講演会やイベント等を開催し、気軽に相談できる窓口など非行防止に向けたの啓発活動を行いました。														
整理番号	事業名																										
463	青少年センター運営経費																										
461	放課後子ども教室推進事業																										
460	青少年健全育成事業																										
③	図書館	図書館が「学び・創造・憩いの広場」となるよう、図書館機能の拡大とサービスの充実に努め、利用者数の増加を図ります	・居心地の良い空間、多様な閲覧席、自動貸出・返却機の導入など、充実した図書館サービスを行い、利用者の満足度を確保しつつ、分館や移動図書館等と連携し、利便性向上・利用拡大に努めます。 ・移動図書館事業の運営については、地域の意向を踏まえて検討を行います。 ・新図書館の運営事業者と協働しながら、優れたレファレンスを実施し、市民の図書館利用の増加を図ることができる事業や本や郷土に興味を持つことができる事業の企画・運用を行います。 ・読み聞かせボランティア団体の活動支援を継続して行います。 ・団体貸出や電子図書などの利用により地域における読書の輪を広げます。 ・伊賀市読書活動プロジェクトを基本に学校図書館と連携し、読書活動の推進を図ります。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>662</td><td>分館管理経費</td></tr><tr><td>466</td><td>図書室運営管理経費</td></tr><tr><td>465</td><td>図書館管理経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	662	分館管理経費	466	図書室運営管理経費	465	図書館管理経費	【効果が出ている点】 ●新図書館の移転整備が完了しました。市民ワークショップや利用者からのご意見を反映できるよう機能を拡大し、多様な目的の利用者のニーズに応えることのできる図書館運営を開始しました。 ●移動図書サービスにおいては、新たに運営を開始する地域への説明や準備を完了しサービスを開始しました。 【新たな課題】 ●新たな運営体制での課題の検証等を行いながら適切な運営を行う必要があります。														
整理番号	事業名																										
662	分館管理経費																										
466	図書室運営管理経費																										
465	図書館管理経費																										

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	「～しました」「～行いました」という記載があるが、どのように変容したのかという効果を書いてほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	「計画どおり進めます。」でよいか考える必要がある。具体的に何を改善するのが読み取れない。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	全ての基本事業で「計画どおり」進めるのでは、めざす姿を追求することはできないのではないか。

■横断的な取組の進捗CHECK

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	新図書館移転整備並びに移動図書サービスの開始を予定どおり完了できました。 第3次伊賀市生涯学習推進指針を策定し、幅広い年齢層に多様な学びの場を提供できました。 人権にかかる正しい知識や情報を提供し、人権同和教育を推進できました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	新図書館が機能拡大して開館することで、市民の学びや交流の拠点となりました。 家庭・学校・地域が一体となり、子どもの居場所づくりや見守り・相談支援を行いました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	市民とともにつくる図書館を実現するための準備や環境を整えることができました。 生涯学習支援員が地域の特性に応じた生涯学習活動を行うことができました。

■成果指標進展度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進展度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	生涯学習活動事業における満足度	生涯学習活動事業への参加者にアンケート調査を実施する。	単年	R6 91.7%	R7 94%				R10 95%	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	教育委員会生涯学習課	●計画通り進め、令和8年度からまちづくりにおける人材育成を目的とした講座を開催します。	○計画通り進めている (85%以上100%未満)
II	人権問題について正しく学習し、人権教育啓発推進リーダーを育成する機会の確保	人権問題について正しく学習し、人権教育啓発推進リーダーを育成する機会の確保	単年	R6 510人	R7 569人				R10 550人	◎目標以上に進んだ (100%以上)	教育委員会生涯学習課		
I	開催事業数参加人数	青少年健全育成に向けた指導者育成講演会や、こどもと保護者、そして地域がつながりを深められる事業の実施	単年	R6 4,123人	R7 4,796人				R10 4,400人	◎目標以上に進んだ (100%以上)	教育委員会生涯学習課	●計画通り進めます。	○計画通り進めている (85%以上100%未満)
II	小・中・高校生の不読率	1ヶ月に一冊も本を読まない小・中・高校生の割合	累計	R6.11.30 小学生9.70% 中学生30.90% 高校生58.00%	R7(計画策定年度) 小学生9.70% 中学生30.90% 高校生58.00%				R10.1.30 小学生6.50% 中学生27.70% 高校生54.80%	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	教育委員会生涯学習課		
I	利用者数	貸出利用者数、学習室利用者数、イベント参加者数、レファレンス件数等の合計値	単年	R6 83827人	R7 66680人				R10 114000人	◎目標以上に進んだ (100%以上)	教育委員会中央図書館	●新たな運営体制になったことで生じる課題を解消しつつ、計画どおり利用者の増加を図ります。	◎完了 (100%以上)
II	読み聞かせ会等のイベント事業実施回数	読み聞かせ会等のイベント事業実施回数	単年	R6 119回	R7 86回				R10 120回	◎目標以上に進んだ (100%以上)	教育委員会中央図書館		

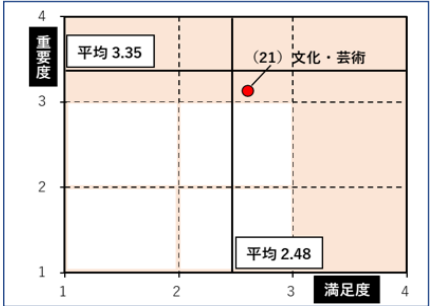
その他の意見等

- ・全体的に課題は無く、計画どおりに完了していると読み取れてしまう。
- ・市の取組だけでなく、市民が内発的に何かすることを想起させる記載がない。次の総合計画ではどういうふうに住民自治、市民活動につなげるか、ACTIONで取組を記載してほしい。
- ・効果検証が不十分で各計画の課題や改善案が書けていない。

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.6	0	0	0	2.48	2.91	2.55	2.61	2.56
今後の重要度	3.14	0	0	0	3.35	3.35	3.02	3.14	3.18



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)										
①	文化・芸術	文化芸術に親しみ、豊かな感性を育みます	・文化振興プラン前期計画の取組の成果や課題を検証し、後期計画を策定します。 ・(公財)伊賀市文化都市協会と連携し、こどもたちや市民が文化や芸術に触れる機会を提供します。 ・文化関連施設を活用し、こどもたちが次代の担い手となるよう、優れた文化・芸術に触れる機会として、文化芸術事業や、アウトリーチ事業を実施します。 ・文化ホールの適正な管理運営を行うとともに、長寿命化計画に基づき、施設環境の維持向上に努めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>60</td><td>芭蕉翁関連施設改修事業</td></tr><tr><td>57</td><td>文化施設改修事業</td></tr><tr><td>56</td><td>文化施設維持管理経費</td></tr><tr><td>52</td><td>文化芸術推進費</td></tr></table>	整理番号	事業名	60	芭蕉翁関連施設改修事業	57	文化施設改修事業	56	文化施設維持管理経費	52	文化芸術推進費	[効果が出ている点] ●文化振興プラン後期実行計画の策定に向け、中間案を策定しました。また、協議を重ねる中で、文化振興にかかる現状や課題について関係団体と情報を共有し、解決に向けた検討を行うことができました。 ●子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会として、伊賀市文化都市協会等に文化芸術事業やアウトリーチ事業を委託し、実施しました。
整理番号	事業名														
60	芭蕉翁関連施設改修事業														
57	文化施設改修事業														
56	文化施設維持管理経費														
52	文化芸術推進費														
②	芭蕉翁顕彰	芭蕉翁の功績を称え遺徳を偲び、俳諧や俳句文化の普及啓発を行います。	・芭蕉翁の生誕地として、顕彰事業とともに俳句文芸の調査研究、継承、啓発を行うとともに、関係団体や自治体と連携し、俳句の文化的価値を世界に発信する取組を進めます。 ・芭蕉翁関連施設や文化財施設等と連携し、魅力ある周遊ルートの開発に取り組めます。 ・芭蕉翁関連施設の管理運営を行い長寿命化を図るとともに、より多くの人に親しまれるよう情報発信を行っていきます。 ・2024(令和6)年度に策定した基本構想に基づき、芭蕉翁の顕彰とともに、伊賀市の歴史や文化芸術に触れることができる施設の建設を進めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>59</td><td>芭蕉翁関連施設維持管理運営経費</td></tr><tr><td>58</td><td>芭蕉翁顕彰事業</td></tr></table>	整理番号	事業名	59	芭蕉翁関連施設維持管理運営経費	58	芭蕉翁顕彰事業	[効果が出ている点] ●芭蕉祭をはじめとする芭蕉翁顕彰事業を継続して行うことで、次代を担う子どもたちにも「伊賀市は芭蕉翁の生誕地」という意識が浸透しています。 ●俳句のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、関係団体や自治体と連携しニュースレターを作成するなど取組を進めることができました。 ●美術博物館基本計画(中間案)を策定しました。				
整理番号	事業名														
59	芭蕉翁関連施設維持管理運営経費														
58	芭蕉翁顕彰事業														

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	「文化・芸術」の分野では、もともと関心を持っていた市民だけでなく、より広い市民へアウトリーチすることが求められるが、その点についても評価が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	C	見直しの必要あり	課題がないと考えていないか。改善案がないことは残念である。
(3)施策の進捗状況	C	やや悪い(やや進捗が悪い)	めざす姿の「ひと」と「まち」がどれくらい育まれたかが分からない。危機感がないように感じる。

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	子どもたちが文化芸術に触れる機会として、文化芸術事業やアウトリーチ事業を伊賀市文化都市協会等に委託し、実施しました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	文化施設を計画的に修繕していくための計画策定に向け準備を進めています。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	・伊賀市民文化祭や市展いがを開催し、市民が文化芸術に参加・参画する機会を提供しました。 ・団体等と連携しながら伊賀市文化振興プランに基づく事業の実施と進捗管理を行いました。

■成果指標進捗度

指標 番号	成果指標名	成果指標の説明	単年/ 累計	現状値	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業 改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	文化ホール 等利用者数	文化会館、青山ホール、ミュージアム青山讃頌舎、岸宏子記念伊賀文学館の利用者数	単年	R6 70,939 人	R7 60,153 人				R10 78,000 人	△あまり進まなかった (70%以上 85%未満)	地域力 創造部 文化振 興課	●計画通り進めます。	○計画通り進めている (85%以上100%未満)
I	芭蕉祭献詠 俳句等応募 数	俳句、連句、絵手紙、ポスター原画の応募総数	単年	R6 37,091 人	R7 33,865 人				R10 40,000 人	○ある程度進んだ (85%以上 100%未満)	地域力 創造部 文化振 興課	●計画通り進めます。	○計画通り進めている (85%以上100%未満)

その他の意見等

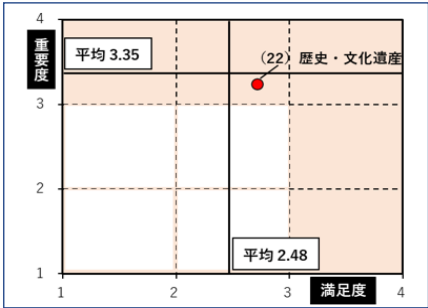
- ・事業レベルのアウトプット評価になっている。アウトカム評価は「めざす姿」である「文化の力で「ひと」と「まち」を育む」がどの程度実現できたかである。その点での評価が必要である。
- ・計画どおり進めているにもかかわらず、実績値が減少していることについて、文化振興プラン後期策定の中で検証されているかと思う。
- ・総合計画にも記載されている施設の老朽化など、抽出された課題やそれに対する改善策を記載する必要がある。

【めざす姿】 歴史や文化遺産を未来へと引き継ぐ

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.71	0	0	0	2.48	3.1	2.71	2.7	2.66
今後の重要度	3.24	0	0	0	3.35	3.3	3.1	3.26	3.29



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)																
①	文化財・歴史資料	国民共有の財産である文化財や歴史資料を調査し保存するとともに、地域の資産として活用することで、シビックプライドの醸成、交流人口の促進につなげます	・未指定・未登録の文化財の調査・記録を促進して、保存すべきものを指定・登録します。 ・文化財の保存修理や防犯・防災施設の整備、後継者育成を支援します。 ・史跡や名勝、天然記念物は、環境整備や適切な維持管理、周辺環境の保全に努めます。 ・埋蔵文化財は、埋蔵文化財包蔵地の適正な把握と周知に努め、適切に調査を実施し保存を図ります。 ・歴史・考古・民俗の資料の価値をより高めるため、適切に整理し保存する場所の確保に取り組みます。 ・文化財・歴史資料の調査・整理を継続して行い、市民等にその価値を伝えるため、講演会や見学会を継続的に開催します。 ・デジタルアーカイブなどを活用し、さらなる歴史資料や文化財の魅力発信に努めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>457</td><td>歴史資料保存管理経費</td></tr><tr><td>456</td><td>史跡上野城跡保存活用計画策定事業</td></tr><tr><td>454</td><td>国史跡伊賀国庁跡保存整備事業</td></tr><tr><td>452</td><td>文化財等保存管理施設維持管理経費</td></tr><tr><td>451</td><td>文化財施設維持管理経費</td></tr><tr><td>450</td><td>文化財保存事業</td></tr><tr><td>449</td><td>文化財保存経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	457	歴史資料保存管理経費	456	史跡上野城跡保存活用計画策定事業	454	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	452	文化財等保存管理施設維持管理経費	451	文化財施設維持管理経費	450	文化財保存事業	449	文化財保存経費	[効果が出ている点] ●文化財を調査し、適切に保存修理することにより、伊賀の歴史的資産を後世に継承することができています。 ●歴史資料の調査を進めることで、市内外からの資料の寄贈や資料情報の照会が増加し、資料の蓄積とともに伊賀市の歴史的の魅力の発信につながっています。 ●講演会等への参加者の満足度が高く維持されています。 [新たな課題] ●継承者や費用の不足により、文化財や歴史的資産の継承が困難となっている場合があります。
整理番号	事業名																				
457	歴史資料保存管理経費																				
456	史跡上野城跡保存活用計画策定事業																				
454	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業																				
452	文化財等保存管理施設維持管理経費																				
451	文化財施設維持管理経費																				
450	文化財保存事業																				
449	文化財保存経費																				
②	歴史まちづくり	歴史的資産により、まちに付加価値を与え、歴史的資産を継承すると同時に市の魅力向上に寄与します	・歴史的風致形成建造物の指定や修景助成、まち巡りの拠点の整備や古民家再生事業などを推進し、歴史的な風致の維持向上に努め、歴史資産を活かしたまちづくりを進めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>453</td><td>歴史的風致維持向上計画進捗管理事業</td></tr></table>	整理番号	事業名	453	歴史的風致維持向上計画進捗管理事業	[効果が出ている点] ●歴史的風致を維持向上するための事業を実施することで、上野城下町区域等の重点区域を中心に伊賀の歴史文化を活かしたまちづくりを進めることができました。とりわけ歴史的建造物の保存修理等を進め、まちの付加価値を高め発信することで、高い関心と注目を集めています。 [新たな課題] ●成果指標について、歴史的風致維持向上計画に掲載された個別事業が完了した割合としているが、計画掲載の事業は、継続的に取り組むソフト事業も多く含まれるため、見直しが必要です。												
整理番号	事業名																				
453	歴史的風致維持向上計画進捗管理事業																				

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	文化財の所有者、歴史に関心のある市民へは浸透していると思われるが、より広い市民へのアウトリーチが必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	より広い市民へのアウトリーチについては課題が残っている。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	多くの市民が歴史や文化財を大切に思い、歴史まちづくりへと展開するには、まだ実施すべきことがある。

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	文化財・歴史資料の保存と活用を通じて、市の歴史を学ぶ機会や見学会の開催など文化財に触れる機会を設け、学び直しの機会を創出しました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	上野天神祭ダンジリ行事や勝手神社神事踊はじめ、「まち」と「むら」の文化財について、継承できるように支援に努めました。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	文化財の活用にかかり、指定管理者ほか県内外の自治体、住民自治協議会、市内の各種団体と協働して講演会を開催し、地域の歴史や文化財の魅力発信につなげました。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	文化財・歴史資料等の調査件数	市内のさまざまな文化財・歴史資料等を調査・研究し、保存・継承すべきものとして取り組んだ成果	単年	R6 105件	R7 152件				R10 120件	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	教育委員会文化財課	●文化財等を継承するため、補助金等さまざまな資金調達の確保に努めます。 ●成果指標Ⅰの値を修正します。 (現状値) R6 73件 → 105件 (目標値) R10 80件 → 120件 【KPI修正済】	○計画通り進めている (85%以上100%未満)
II	文化財・歴史に関する講座・展示等への参加者の満足度	文化財・歴史資料の価値と魅力を周知する取組とそれに対する評価	単年	R6 95%	R7 92%				R10 95%	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	教育委員会文化財課		
I	歴史的風致維持向上計画の事業進捗状況	歴史的風致維持向上計画に掲載された個別事業に着手した割合	単年	R6 100%	R7 100%				R10 100%	◎目標以上に進んだ (100%以上)	教育委員会文化財課	●計画どおり進めます。 ●成果指標Ⅰを見直します。 基本事業②指標Ⅰ(成果指標名)歴史的風致維持向上計画の事業進捗状況(成果指標の説明)歴史的風致維持向上計画に掲載された個別事業に着手した割合(現状値)R6 100%(目標値)R10 100% 【KPI変更済】	◎完了(100%以上)

その他の意見等

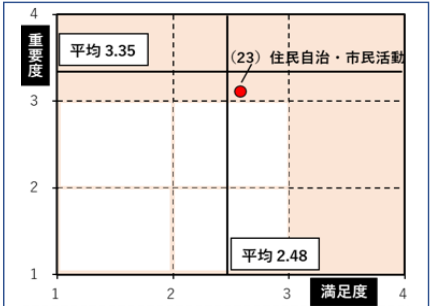
- ・より広い市民の支援があれば、寄附も集まり、税の投入にもつながる。また、まちづくりへの展開もできる。こうした点の評価も必要。
- ・市民の心からの「自分たちで守っていこう」という活力を生み出す仕組みを求める。
- ・資金調達だけでなく、継承者の確保についての改善案が不足している。

【めざす姿】 住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われている

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.58	0	0	0	2.48	2.8	2.57	2.55	2.57
今後の重要度	3.12	0	0	0	3.35	3.21	2.88	3.14	3.24



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本 事業 番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)								
①	住民自治	地域の活力を維持し、自主自立した魅力ある地域づくりを進めます	・自治基本条例に規定する財政支援について、適宜見直しを行います。 ・住民自治協議会における人材育成、組織運営の強化、まちづくり計画の見直しなどの支援を行います。また、ニーズに応じた研修会の開催、住民自治協議会相互の交流や各種団体等の連携を促進します。 ・引き続き、住民自治協議会の活動基盤の強化につながる地区市民センター指定管理者制度の導入を促進します。	<table><tr><th>経理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>76</td><td>住民自治協議会推進経費</td></tr><tr><td>75</td><td>自治振興経費</td></tr><tr><td>70</td><td>地区市民センター維持管理経費</td></tr></table>	経理番号	事業名	76	住民自治協議会推進経費	75	自治振興経費	70	地区市民センター維持管理経費	[効果が出ている点] ●7月に住民自治のあり方検討委員会を設置し、伊賀流自治のあり方について諮問しました。令和7年度は委員会を5回開催し、伊賀市のこれまでの住民自治の取り組みを検証するとともに、今後の住民自治のめざす姿について、住民自治協議会の組織運営や活動支援、他団体との連携など5つのテーマで議論が進められました。 ●地区市民センターの指定管理者制度の導入については、令和8年度に新たに3カ所の地区市民センターが増え、全38カ所中24カ所のセンターを指定管理者(住民自治協議会)が運営することとなりました。住民自治協議会が地区市民センターの指定管理者となることにより、自らの活動基盤の強化にもつながっています。
経理番号	事業名												
76	住民自治協議会推進経費												
75	自治振興経費												
70	地区市民センター維持管理経費												
②	市民活動	市民公益活動の活性化に向けた支援を行います	・支援員のスキルアップにつながる研修の受講や先進地視察を実施し、支援体制の充実を図ります。 ・市民活動や住民自治活動の支援に関し、中間支援組織(団体)等の外部委託手法の検討を行います。 ・若い世代に市民活動が認知されるようSNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行います。 ・定住自立圏域内での住民活動の活性化に向けた新たな取組を検討します。	<table><tr><th>経理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>649</td><td>ゆめぼりすセンター施設改修事業</td></tr><tr><td>77</td><td>地域活動支援事業</td></tr><tr><td>71</td><td>ゆめぼりすセンター維持管理経費</td></tr></table>	経理番号	事業名	649	ゆめぼりすセンター施設改修事業	77	地域活動支援事業	71	ゆめぼりすセンター維持管理経費	[効果が出ている点] ●令和7年度に市民活動支援センターの現状と課題を整理し、市民活動や住民自治活動への具体的な支援策についての検討を進めるとともに、相談支援体制の充実に向けた体制整備を進めました。 ●市民活動団体の裾野を広げることを目的に、SNSなど新しいツールを活用し、市民活動に関する情報発信に取り組みました。
経理番号	事業名												
649	ゆめぼりすセンター施設改修事業												
77	地域活動支援事業												
71	ゆめぼりすセンター維持管理経費												

◆令和7年度外部評価

項目	評価	所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり 住民自治活動や市民活動の活動量を測るアウトプット指標や、活動によってどれだけ活性化しているかを測るアウトカム指標を検討してほしい。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり 住民自治のあり方検討委員会を設置し、専門的知見から支援の在り方等を検討することは重要だが、課題の抽出や改善案の提示を外部有識者に任せきりになっていることが読み取れるため、行政として、すぐにでも取組可能な改善案の提案を求めたい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調) 住民自治のあり方検討や地区市民センターの取組は着実に進んでいる一方で、市民活動への参加や団体同士の連携はまだ発展の余地があるため、引き続き支援を進めてほしい。

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	伊賀市の住民自治のあり方についての検討は計画通り進めており、本年度中に一定の方向性を示す予定です。その後、住民自治活動の組織強化のための支援策を検討することとしています。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	各支所において、住民自治協議会との信頼関係を築き取り組みを進めており、組織の地域力・防災力の強化に継続して取り組んでいます。地区市民センターの長寿命化についても、整備計画に基づいて進めています。
これからの自治 「つながりを結び直す」	2(やや遅れている)	住民自治協議会や各種活動団体が主体的に連携・協力した取り組みを進められるよう、支援センターの機能強化に努める必要があります。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	住民自治活動に参加している人の割合	まちづくりアンケートにおける参画度	単年	R6 44.9%	R7 54.5%				R10 50%	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	地域連携部 地域政策部	●住民自治のあり方検討については、概ね計画どおりに進んでいます。本年度に答申が出されたら、答申の内容を各住民自治協議会にフィードバックするとともに、財政支援を始め、行政による各種支援策のあり方について、答申に沿った見直しを進めます。 ●地区市民センターへの指定管理者制度の導入については、新たに指定管理者制度を導入する住民自治協議会へのアプローチを強化するとともに、活動の基盤強化につながるよう継続的に支援を進めます。	○計画通り進んでいる (85%以上100%未満)
I	市民活動支援センターへの相談件数	市民活動支援センターへの市民活動に係る相談件数	単年	R6 348件	R7 255件				R10 362件	×進まなかった (70%未満)	地域連携部 地域政策課	●市民活動の支援について、住民自治のあり方検討の答申を踏まえ、現行の支援活動の見直しを進めます。活動団体と住民自治協議会の橋渡しができるように、情報のデータベース化を進めます。 ●活動の成果発表や他の団体との交流の場を設けるとともに、ニーズに基づく研修を企画します。 ●交流等の場への参加団体の裾野を広げ、継続的にフォローアップしていきます。	△やや遅れている (70%以上85%未満)

その他の意見等

・基本事業①「住民自治」、②「市民活動」とともに、効果検証で「進めました。」「取り組みました。」とされているが、検証であるため、もう少し具体的に記載し、あわせて、取り組んだ(進めた)結果も記載されると良い。また、「新たな課題」の記載が無いが、地域によっては高齢化や転居・転出などで担い手不足などの問題はないか。

・課題抽出が的確である分、それに対する改善アクションがやや抽象的になっている印象を受ける。現場が動きやすくなるような具体的なプランの策定を望む。

・数値だけでは成果が見えにくい分野であると考え。参加人数や相談件数だけでなく、活動が継続しているか、新しい参加者が増えているかといったことも評価に取り入れると、取組の成果がより分かりやすくなると思う。

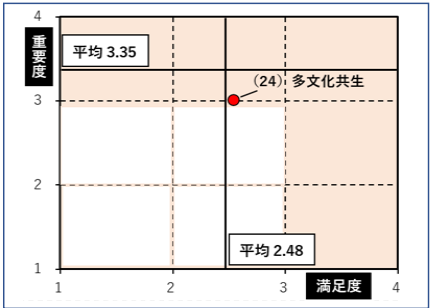
【施策】 3-9 多文化共生

【めざす姿】 国籍や文化の違いを認め共生する

■まちづくりアンケート調査結果(点)

年代別内訳(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.54	0	0	0	2.48	2.95	2.5	2.49	2.53
今後の重要度	3.02	0	0	0	3.35	3.22	2.81	3.03	3.12



■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本 事業 番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)				
①	多文化 共生	外国人住民が日本人住民と「ともに」地域を支える担い手となります	・外国人住民が安全に安心して暮らせるよう、関係機関と連携し、充実した多言語相談や情報発信の取組を継続して行います。 ・教育委員会と連携し、外国につながる子どもたちに寄り添った学習支援を行います。 ・多文化共生推進プランに基づく取組の進捗管理を行い、計画的に事業を進めます。 ・外国人住民アンケートなどを実施し現状把握を行います。 ・「やさしい日本語」を広く周知し、活用するよう推進します。 ・外国人住民と日本人住民との交流の場を作り、多文化共生に対する理解を深めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>54</td><td>多文化共生推進事業</td></tr></table>	整理番号	事業名	54	多文化共生推進事業	[効果が出ている点] ●多文化共生に係る事業について、多言語での相談や情報発信により、外国人住民に向けた生活支援の取組みが進んできています。 [新たな課題] ●多文化共生について日本人住民に向けた情報発信が不足し、関心や交流活動への積極的な参加が低い傾向が見られました。これまでの業務に引き続き取り組むと共に、新たな交流の機会が増えるよう、地域に向けた情報発信にも取り組むことが必要です。
整理番号	事業名								
54	多文化共生推進事業								

◆令和7年度外部評価

項目	評価		所見
(1)効果検証の適正性	B	一部見直しの必要あり	基本事業①「多文化共生」において「新たな課題」が日本人住民に向けた情報発信の不足にあることからすると、現在のKPIに加えて、日本人住民や地域に向けた施策の成果を測るための新たなKPIの設定が必要である。
(2)事務事業改善案の妥当性	B	一部見直しの必要あり	外国人住民に対する取組と日本人住民や地域に向けた施策を一括せず、それぞれ別にし、事務事業案の改善案を検討し、ACTION欄に明記してほしい。
(3)施策の進捗状況	B	やや良い(概ね順調)	基本事業の進捗が「△やや遅れている」としているため、今後、さらに多文化共生について取り組んでほしい。

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	外国につながりをもつ小学5、6年生、中学生を対象にした学習支援「ささゆり教室」や小学1～4年生を対象にした漢字教室、地域の方に向けたやさしい日本語講座等を開催し、取り組んでいます。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	国際交流フェスタ等、多文化発信イベントに引き続き取り組むとともに、各団体と連携し、地域活動支援事業を通じ、多様な交流機会を設けられるよう、取り組んでいきます。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	5ヶ国語による多言語相談業務や情報誌の発行等、必要な情報を届けられるように取り組んでいきます。今後、やさしい日本語の普及にも努め、地域の協力体制づくりが更に進むよう取り組んでいきます。

■成果指標進捗度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	目標値	成果指標の進捗度	所管課	事務事業 改善案(ACTION)	基本事業の進捗
I	日本人住民との交流により、地域とのつながりを実感している外国人住民の割合	伊賀市外国人住民アンケート調査における「日常生活で日本人とどのような交流をしていますか」の問いに「日常生活の話(世間話)をする」「困ったときに助け合える」「家族同様に親しく付き合っている」と回答した外国人住民の割合	単年	R6 63%	R7 52.4%				R10 71%	△あまり進まなかった (70%以上85%未満)	人権生活環境部 多文化共生課	●コミュニケーションツールとして、「やさしい日本語」の普及に努めると共に、「伊賀らしい多文化共生ガイドブック」を作成し、地域に向けた情報発信に取り組み、相互理解が進むように取り組んでいきます。	△やや遅れている (70%以上85%未満)

その他の意見等

- ・アンケート結果の低下傾向を真摯に受け止め、現状の取組が実生活のニーズに合っているか、より柔軟な視点で見直しを期待している。
- ・外国人住民への支援や多文化共生に向けた取組が確実に進められている。今後も地域や関係団体と連携しながら、多様な人が暮らしやすいまちづくりを進めてほしい。